

7 世界にも通用する究極のお土産選出について

復興庁の主催により開催された『世界にも通用する究極のお土産～「新しい東北」の挑戦』の品評会において、最終選出された10商品の中に市内の3事業者が出品したお土産3商品が入選いたしました。

この品評会には、東北6県から496商品が出品されましたが、選出10商品のうち岩手県から3商品が選出、さらに3商品とも花巻市の事業者という快挙となりました。市内事業者の日頃の商品開発への質の高い取り組みが高く評価されたものです。

最終選考会は、全国への販路を持つ流通のプロフェッショナル10名により行われ、今後の全国展開も期待されるところです。

【選出商品の紹介】

・「Amulet of the sun-太陽の生レーズン/一房」 佐藤ぶどう園

4年前に開発を始めた商品。自らの農園で栽培したぶどうを一房丸ごと乾燥させ、独自の製法でレーズンにしたもの。全国のナチュラルローソン330店舗（首都圏のほか京都、福岡等）での取り扱いが決まっている。商品名は「太陽のお守り」という意味。

・「老舗の味つゆ」 佐々長醸造株式会社

30年前に開発された商品。岩手県産の大豆と瀬戸内海産の塩を原料に作られた醤油をベースに、高知県の鰹節を大量に使用して製造。専門の職人が機械ではなく手でかき混ぜ、舌で味を決めている。添加物は一切使用していない。

・「平泉黄金バウム」 株式会社ブルージュ

平泉のお土産として開発された商品。岩手県が開発した雑穀を使用し、県産の材料にこだわって作っている。平泉の黄金に込めた祈りをバウムクーヘンの形と色に表現したもの。取り扱いは中尊寺ほか主に平泉町の店舗。（ブルージュプリュスでも販売。）

【選出報告会について】

過日（10月13日）、選出された3社の方々より、市長への選出報告会が行われました。報告されたのは、佐藤ぶどう園副代表 佐藤徹氏、佐々長醸造営業推進課長 佐々木洋平氏、ブルージュ取締役 高橋大氏の3方。選出された商品について材料や製造方法、完成するまでの経緯などが説明されました。

また、この報告会の場にて3社を代表してブルージュの高橋氏より、この選出を機に、今後3社が共同で花巻のお土産品の開発に取り組むことを考えているというご発言があり、大いに期待されることです。

【参考】

『世界にも通用する究極のお土産（第2弾）～「新しい東北」の挑戦～』概要

- ・主催 復興庁
- ・協力 観光庁
- ・対象は東北6県
- ・募集期間 2015年6月1日～6月30日
- ・応募数 496商品
- ・1次審査 発表 2015年8月18日
- ・1次審査通過 112商品（青森7、秋田15、山形12、岩手29、宮城21、福島28）
※当市からは、佐藤ぶどう園2商品、ブルージュプリュス1商品、佐々長醸造1商品

- ・最終審査発表 2015年9月14日
- ・最終結果 10商品（青森1、山形2、岩手3、宮城2、福島2）、特別賞（山形1）
- ・「世界にも通用する究極のお土産（第1弾）」は2013年に全国規模で開催し9商品を選出。東北からは「秋田しょつつる10年熟仙」が選出された。



<担当 商工観光部 観光課 24-2111 内線288>